

分科会 13:00~16:00

注 各講座・分科会のテーマの下にある「カリキュラム 年次 課」は、「学童保育指導員研修カリキュラム」の科目に対応しています。

学童保育入門

(^_^)今年、保護者・指導員となられた方へお薦めです

1 . 学童保育へようこそ！

～ 今年、学童保育に子どもを預けたあなたへ ～

【講師】松崎波留美（寄居町鉢形はりきりクラブ指導員）

学童保育はいかがですか？お子さんは楽しく通っていますか？学童保育では、時間を忘れて遊んだり本気でケンカをしたり、いろいろなことが起こります。毎日の生活を豊かに過ごすことで、子どもたちは成長します。また保護者会の親同士のつながりは、きっとあなたの子育てを支えてくれるでしょう。学童保育には「親が働くために利用する場所」ととどまらない、とても豊かな中味があります。講師の話から始め、子どもたちの生活や指導員のこと、父母会のこと等、何でも出し合える分科会です。

参考図書『学童保育のハンドブック』（ぎょうせい）

2 . 指導員になりたてのあなたに

～ 学童保育って何だろう、指導員の仕事って何だろう ～

カリキュラム1年次1-(1)(2)課

【講師】佐藤正美（さいたま市東小学童保育所指導員）

「子どもに関わる仕事がしたい」と学童保育を選んだあなた、日々の仕事はどうですか？子どもとうまくいっていますか？先輩指導員との関係はどうですか？父母会や地域、行政との関わりなどもあって「学童保育っていったい...」ととまどっているのではないですか。

新人指導員さん、2ヶ月過ごしてみて、率直な気持ちや悩み、とまどいを出してください。講師を中心にみんなで考え合いたいと思います。

参考図書『学童保育のハンドブック』（ぎょうせい）、『テキスト指導員の仕事』（全国連協刊）、『入門ガイド 学童保育指導員』（大月書店）

生活づくりを豊かに

(^_^)“指導員力”をもっともっとつけたい方へお薦めです

3 . 学童保育の生活づくり（保育）ここを大切に

カリキュラム 1年次1-(1)課 2,3年次3-(1)課

【講師】亀卦川 茂（富士見市水谷放課後児童クラブ指導員）

子どもが喜んで学童保育に通ってくれなければ、親たちは安心して働くことができません。指導員は学童保育が一人ひとりの子どもたちにとって安心できる居場所になるよう、悩みながら様々な工夫をしていきます。この分科会では、学童保育の生活づくり（保育）をどう進めるか具体的に学びます。また指導員に求められる職業意識やモラルについても学びます。

4 . 一緒に子育て 学童保育

～ 保護者と指導員で、保護者同士で伝え合う子どものこと ～

カリキュラム 1年次1-(1)課

【講師】渡辺紀子（草加市氷川児童クラブ指導員）

子育て情報は巷にあふれていますが、子育てはマニュアル通りにはいかないもの。「自分を出せる」学童保育の場で子どもたちは素顔をあらわしています。子どものことは指導員に聞きましょう。指導員はもっと親に伝えましょう。親同士ももっと仲良くなりたいものです。そんな関係の大切さ、どうしたらそんな関係をつくっていいのかを学びましょう。

子どもの見方を深める

(^_^)子どもの育ちを見る目・関わる力をもっとつけたい方へお薦めです

5 . “子どもが育つ”ってどういうこと？

～ 子どもの発達のしくみと子どもへのはたらきかけを学ぶ ～

カリキュラム 1年次2-(1)(2)課

【講師】大津悦夫（立正大学教授）

「言葉が通じない」「ささいなことですぐキレル」など学童保育でも子どもたちの実態にとまどうことが増えています。一人ひとりの成長過程をふり返り、背景を考えてみるのが大事です。いま、様々な要因から多くの父母がゆとりのない子育てに追い込まれ、子どもとゆったり向き合えないでいます。子どもの育ちそびれが懸念されます。指導員には子どもの心の成長について正しく理解し、適切に働きかけていくことが求められます。

6 . 生きる知恵と本物の学力を子どもたちに！

カリキュラム 2,3年次2-(1)課

【講師】渡辺恵津子（上尾市立公立小学校教諭）

日本の子どもの「学力低下」が指摘され、文科省は「ゆとり教育」の見直しを言い出しています。「『できる』けれども『わからない』学力」「勉強すれど自信（自己肯定感）の持てない学力」??日本の学力政策はどうも成功していないようです。学校はどうなっているのか、何が問題なのか。そして、ヒトとして生きることに関わる知恵と学力を育てるために親や学校は何をしたらよいか、ベテラン教師の渡辺先生とともに考えます。

7 . 「学童保育の子が、我が子がわ

からない」とお悩みのあなたへ

～ 子どもの育ちをどう見て、関わったらよいか 知りたい ～

カリキュラム 1年次2-(1)(2)課

【講師】山崎隆夫（東京都品川区公立小学校教諭）

「うざい!」「死ね!消えろ!」言葉が荒い。すぐにキレル、手も出る。でも、家庭では別な顔も見せ「良い子」らしい?...「仲良し」を装わないといけない友だち関係、「よい子」を強いられる生活等でストレスを貯めているのでは...。高学年ともなるともっと分からない...。子どもの心を知りたい。ベテラン教師の山崎先生と考えます。

8 . 今日の「いじめ」問題を考える

カリキュラム 1年次2 - (1)(2)課

【講師】吉野啓一（「非行」と向き合う親たちの会理事）

「いじめ」が大きな社会問題となっています。政府内では「いじめている子を懲らしめる」発想が色濃くありますが、「いじめる」側が翌日には「いじめられる」側が変わるとというのが今日の「いじめ」の特徴です。子どもたちの心に何が起きているのか？子どもとどう向き合えばよいかを経験豊かな元教師の吉野先生と一緒に考えます。

参考図書 吉野啓一著『聴こえてますか小さな悲鳴』（大月書店）

13 . 障害児学童保育の分科会

～ 入門編 障害児学童保育とは？ 指導員の仕事と役割とは？ ～

【講師】田中祐子（東京都江東区まつぱくくり子ども教室所長）

障害児学童保育は、障害のある子どもの放課後生活を豊かにすることで成長を促し、そのことを通して親の労働と家族の生活を守ります。それを現場で具体化するのが指導員です。障害児学童保育の果たす役割、指導員の仕事と役割、父母と指導員との関わり等をベテラン指導員の田中先生と一緒に学びましょう。

参考図書 『障害児と学童保育』（大月書店）

9 . 大人に見えない子どもの世界

～ ネット・ケータイの世界にはまる子どもの心をどう考えるか ～

カリキュラム 1年次2 - (1)(2)課

【講師】杉田明宏（大東文化大学教育学部講師）

小3生以上の過半数が家庭で週1～2回以上インターネットを利用しているという調査結果もあります。子どもたちはネット・ケータイという情報環境の中で「人間関係」をつくり出しています。世界を広げる便利なツールではありますが、ネット犯罪に巻き込まれないか等、親としては心配もあります。どう付き合わせていくか、ご一緒に考えましょう。

14 . 障害児学童保育の分科会

～ 異年齢の子どもたちの生活をどうつくっていくか？ ～

【講師】太田英樹（東京都立養護学校教諭）

障害児学童保育では、まだ幼児性が残る小学部の子どもから思春期の問題を抱える高等部の子どもと一緒に生活を共にしています。子どもたちは、発達段階も症状も異なっています。一人ひとりの成長を支援しながら、子どもたちの集団としての生活をどうつくっていくのか、太田先生と一緒に考えましょう。

10 . ストップ！子ども虐待

～ 児童虐待の加害者と被害者を増やさないために ～

【講師】福田智雄（国際学院埼玉短期大学講師）

児童虐待が後を絶ちません。追いつめられた母子関係の問題も指摘されています。行政も虐待防止ネットワークづくりなどに力を入れ、学童保育にも相談が寄せられています。児童虐待とは何か？ 児童虐待の実態と対応 大人として社会としてどう対応していくか 考えます。

よりよい学童保育の条件・施策をつくる

(^_^) “学童保育運動力” をパワーアップしたい方にお薦めです

15 . 集まれ！父母会長

～ “みんなでつくる、みんなの父母会” ってどうしたらできるだろう～

【世話人・助言】柄澤悟（県連協運営委） 杉山郁恵（さいたま市指導員）

「父母会（活動）がわずらわしい」「なかなか集まらない」「役員がなかなか決まらない」という声。「父母の労働形態の変化で会議設定が難しい」という事情もあります。一方、「父母会や父母同士で子育ての悩みや喜びが共有できてホッとする」という声等もたくさんあります。父母会をみんなのもの、魅力あるものにするにはどうしたらよいかを交流します。

11 . 親子で楽しくおいしく食べよ

～ 子どもの生活を「食育」から考えましょう ～

カリキュラム 1年次2 - (1)課

【講師】安藤節子（「たべもの文化」編集長）

「夜型生活」の影響で朝食を食べて来ない子、「ダイエット」と称してきちんと食事を摂らない子。生活習慣病などの食習慣の問題や食物アレルギーにアトピーの問題。今日、「食」をめぐる問題は実に深刻。本当は、規則正しく、家族して、おいしく栄養あるものを食べたいものです（現実とはホボですが...）。専門家の方と一緒に考えましょう。

16 . よくよく分かる放課後子どもプラン

大規模学童保育の分離問題もからめて～ “学童保育運動力” をつける

【講師】木田保男（全国学童保育連絡協議会事務局長）

全ての児童を対象とした事業（放課後子ども教室）と学童保育事業の両方を合わせた「総合的な放課後対策」計画＝「放課後子どもプラン」が始まりました。全国的には学童保育を「全児童対策事業」に吸収してしまう動きも見られる中、この「プラン」を正確に理解する必要があります。同時に厚生労働省は、大規模問題を解決する趣旨から71人以上の学童保育への補助金廃止を打ち出しています。併せて対策を考える必要があります。

参考図書 『よく分かる放課後子どもプラン』（ぎょうせい）

障害児の理解を深める

(^_^)障害のある子どもの育ちと支援を理解したい方へお薦めです

12 . 障害児と一緒に育つ

～ LD、ADHD、高機能自閉症児の子どもたちを理解するために～

カリキュラム 2,3年次2 - (2)課

【講師】橋口亜希子（NPO法人えじそんくらぶ「静岡Wish」顧問）

落ち着かない、ひとの話が聞けない、言葉の前に手が出てしまう。けれど、実力がない訳ではない。「ちょっと気になる子」と言われる子ども。「LD」「ADHD」と特別扱いのレッテルを貼れば解決することではありません。そうした子どもをどう理解し、支援していくか、学童保育の生活の中で何ができるかを考えましょう。

17 . 「官から民へ」で学童保育はどうなる？ 「指定管理者制度」等を学び深める～ “学童保育運動力” をつける！

【講師】角田英昭（神奈川県自治体問題研究所事務局長）

「サービスの向上と経費の節減」を目的に、行政が実施してきた事業を「民間」にゆだねる「指定管理者制度」を導入する自治体が目立っています。学童保育事業に民間企業も参入し、「競争」で選別される事態が起っています。学童保育にとって、安心して我が子を預けられる、指導員との信頼関係をもとに成長を見守ることができることが大事です。「官から民へ」を基調とする政策で自治体はどうなるのかを考えてみましょう。